

〔県民局だより〕

『千屋牛』の増頭をめざして！

約170年の歴史を誇る『千屋牛』は、新見地域の農業の核として生産振興されてきましたが、近年、生産者の高齢化、後継者不足などにより飼養戸数が減少傾向にあります。このため新見市、JA阿新、肉用牛農家、関係機関等が連携して『千屋牛』の増頭のための飼育施設整備及びPR活動に取り組んでいます。

【施設整備】

新見市は、平成14年度から平成16年度にかけて「草地林地一体的利用総合整備事業」により長久牧場（管理運営：新見市神郷農業公社）の草地及び飼養施設等の整備を行い、「千屋牛」の増頭を図ってきました。

さらに平成18年度からは同事業により、次の4牧場の施設整備を平成20年度で完成予定としています。

①新見市花見公共放牧場（管理：JA阿新）

（実施年度 H18～H19）

繁殖牛舎（60頭）1棟、堆肥舎1棟、放牧用林地整備（21ha）、他

②JA阿新 千屋肥育センター

（実施年度 H18）

肥育牛舎（200頭）1棟、堆肥舎1棟、他

③(有)哲多和牛牧場

（実施年度 H18～H20）

繁殖牛舎（100頭）1棟、肥育牛舎（130頭）2棟、育成牛舎（60頭）1棟、哺育牛舎（40頭）1棟、堆肥舎1棟、放牧用林地・草地整備（7.5ha）、ソーラー発電システム一式、他

④井倉牧場

（実施年度 H20）

繁殖牛舎（100頭）1棟、育成牛舎（80頭）1棟、哺育牛舎（50頭）1棟、堆肥舎1棟、放牧用林地整備（0.7ha）、他
新見市は「花見公共放牧場」「千屋肥育セン

備中県民局 農畜産物生産課 畜産第二班

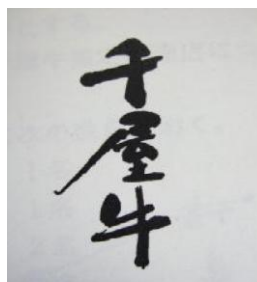
ター」「(有)哲多和牛牧場」「井倉牧場」を新たな千屋牛の生産拠点に位置づけ、放牧を活用した「千屋牛」の増頭を目指しています。



（有）哲多和牛牧場 第1農場』

【販売促進活動】

地域の特産品等の差別化を図るため、地域ブランド作りが全国的に盛んになっています。ここ新見市でも、「千屋牛」の地域団体商標が登



【地域団体商標のロゴ】

録され、産地間競争に勝ち抜くためにブランド化を推進し、全国へ向けて安心・安全な「千屋牛」の情報発信・PR活動を行っています。

以上のように新見市では、地域内での一貫生産体制を強化するとともに、『千屋牛』のPR活動及び増頭を目指しています。



『林地放牧風景』